

児島湾地区 七区小学校出前授業

令和7年10月10日(金)午前8時50分から、岡山市南区内の児島湖流域にある七区排水機場、七区5号樋門、一区干拓堤防跡地、児島湾締切堤防において、岡山市立七区小学校4年生児童21名、小学校教諭3名、児島湾七区土地改良区2名、岡山県土地改良区事業団体連合会5名、岡山市南区役所4名、及びNPO会員6名が参加して児島湾七区土地改良区が主催する出前授業が行われた。

児島湾七区土地改良区は、21世紀土地改良区創造運動の一環として、毎年、岡山市立七区小学校の4年生児童を対象に七区に関する土地改良施設の見学会を開催しており、当NPOは土地改良区と連携し、児島湾干拓の歴史や干拓工事の方法、ポンプのしくみ、児島湖の誕生についてパネル等で紹介しました。

七区小学校は、農林省が実施し昭和38年に竣工した児島湾七区干拓地内に位置しており、干拓地は岡山市中心部からも近いことから、混住化が進み、七区小学校の在校生は非農家家庭の児童がほとんどです。

児童たちは、自分たちが住んでいる場所が昔は海だったことに驚き、また、土地が海面より低い場合排水ポンプの運転が必要であることを理解し、これらの施設を土地改良区の人たちが昼夜管理していることを学びました。



会員手作りの模型を使って干拓工事の方法を説明



七区排水機場内でポンプのしくみを説明



明治時代の干拓工事で造られた干拓堤防を説明



児島湾締切堤防の干拓資料館で説明